2区は新人・赤沢氏

保守分裂の激戦制す

川上氏5000票差で涙

第四十四回衆院選は十一日、投開票が行われた。小選挙区は鳥取1区が自民前職の石破茂氏(48)が十万六千八百五票を獲得し、民主新人の早川周作氏(28)、共産新人の塚田成幸氏(41)、社民新人の田中清一氏(52)に大差を付け、七回目の当選を果たした。鳥取2区は自民新人の赤沢亮正氏(44)が六万四千百三十二票を集めて、無所属前職の川上義博氏(54)を引き離し、初当選を決めた。民主前職（比例中国ブロック）の山内功氏(50)は前回衆院選より大幅に票を減らし、比例復活もならなかった。共産新人の鷲見節夫氏(60)も及ばなかった。投票率は鳥取1区70・89％、鳥取2区75・07％で、前回選を6・66ポイント、5・07ポイントそれぞれ上回った。

高々と両手を挙げて、初当選を喜ぶ赤沢亮正さん㊨＝11日午後10時50分、米子市錦町3丁目

郵政対決、保守分裂と今回衆院選の象徴的な選挙区となった鳥取2区は、自民党公認の強みを生かした赤沢氏が出遅れと知名度不足を盛り返し、初当選を果たした。大票田の米子市で大差をつけ、郡部でも健闘。前職二人を退けた。

赤沢氏は、郵政法案賛成派の受け皿として改革を訴えたほか、将来への期待感から保守層の支持を集めた。元自治相の祖父の地元・米子市に、待望論があったことも出遅れのハンディを埋めた。

党青年、女性部を軸に経済界の支援を受け、県選出国会議員や鳥取1区の県議もてこ入れする組織戦を展開。前回、川上氏に流れた反相沢票や公明票も奪い返した。

川上氏は、郵政法案反対で自民党公認を得られず、前回選のしこりを背景に対抗馬を立てられ、政党の力に屈した。地方の声の代弁者との姿勢を訴え、反小泉感情の取り込みを狙ったが、守旧派のレッテルを張られたのが痛かった。

自民を離党した県議や県西部町村会、農協の支援も得て序盤はリードしたが、赤沢氏による切り崩しを防げなかった。

山内氏は、悲願の小選挙区当選に背水の陣を敷いたはずが、保守分裂で危機感が薄らぎ、緊張を欠いた。連合鳥取の集票力が落ち、赤沢氏の登場で地元・米子市の票が流出。郵政対決から距離を置き、年金を重点に政権交代を訴えたが、無党派層を取り込めなかった。

鷲見氏は、増税反対や護憲で共産党の存在をアピールしたが、有力三氏の間に埋没した。

石破氏余裕の7選

目標10万票を突破

1区

鳥取1区は、自民前職で公明の推薦を受けた石破氏が、強固な後援会組織と抜群の知名度を生かし、初対決となった民主党候補をはじめ新人三人に圧勝した。

石破氏は、前回に続き他候補の応援で選挙区不在が多い選挙となったが、妻の佳子さんや県議らが留守を預かり、後援会を軸に組織戦を展開した。

選挙戦では郵政民営化実現と構造改革の継続を主張。保守地盤に広がる「地方切り捨て」との反小泉感情に「自分が一番、鳥取を知っている」と理解を求め、支持をつなぎ留めた。

民主党候補との対決は陣営の危機感にはつながらず、終盤まで安泰ムードがまん延。後援会を中心に引き締めを徹底、最終盤は石破氏が都市部を中心に回り、無党派層の掘り起こしを図った。

高投票率に加え、当選六回と前防衛庁長官の実績も物を言い、「国のリーダーになるためには圧勝的勝利が必要」と、陣営が最低限の目標としてきた十万票を超え、完勝した。

初の民主党公認候補として出馬した早川氏は「政権交代」を前面に出し、年金問題に絞った政策を訴えたが、最後まで出遅れと知名度不足を挽回（ばんかい）はできなかった。

社民の田中氏、共産の塚田氏はともに小泉政権を批判し、比例とセットで党の存在意義を訴えたが、浸透し切れなかった。

万歳する選対幹部らに囲まれ、白い歯をこぼす石破茂さん（中央）＝11日午後8時55分、鳥取市戎町の事務所

鳥取選挙区開票結果

1　区（12日0時18分、選管最終）

当106,805票	石破	茂	48	自前
48,092票	早川	周作	28	民新
14,271票	田中	清一	52	社新
11,105票	塚田	成幸	41	共新

2　区（11日23時30分、選管最終）

当 64,132票	赤沢	亮正	44	自新
58,909票	川上	義博	54	無前
41,533票	山内	功	50	民前
6,711票	鷲見	節夫	60	共新

2区　当選者　1区

赤沢　亮正（自民、新　㊐公明）

元日本郵政公社事業開発部長。1984年に旧運輸省入省。北海道総合企画部交通企画室長、国土交通省官房総務課企画官などを歴任し、04年から日本郵政公社に出向。党県衆議院選挙区第2支部長。東京大法学部卒。米子市日ノ出町1丁目。当選1回。44歳。

石破　茂（自民、前　㊐公明）

前防衛庁長官。銀行員を経て、1986年の衆院選で初当選。農林水産政務次官、衆院規制緩和特別委員長、同運輸委員長、農林水産総括政務次官、防衛庁副長官など歴任した。05年6月から党県連会長。慶応大法学部卒。鳥取市上町。当選7回。48歳。

若さと清新さ　追い風呼ぶ

解説

小泉首相が純化を打ち出してまで進める構造改革の明確さが、鳥取2区の有権者に歓迎された。政権党・自民の組織力、公的部門の改革推進を求める経済界の後押しを得て、赤沢氏は出遅れと知名度不足を挽回（ばんかい）。若さとフレッシュさを「新しい自民党」のイメージにダブらせ、追い風を呼んだ。

鳥取の保守分裂は、前回選挙のしこりが残り、川上氏の地盤が弱かったことと、県中部出身の川上氏ではなく西部から自民党国会議員を、との声がくすぶっていたのが背景。

以前から政界への転身を狙い、待望論もあった赤沢氏がこれに乗る形になり、実質は自民党対川上氏の構図だった。落下傘との見方もあったが、赤沢氏の勝利は政党の政策で候補を選ぶ選挙が、有権者に受け入れられたとも言える。

しかし、実績を訴えて戦った川上氏だけでなく、赤沢氏も国交省出身の経歴を元に、インフラ整備への貢献を強調した点は、旧来の利益誘導型政治の思想が地方に色濃く残っていることも感じさせた。

祖父が自治相を務めたとはいえ、赤沢氏の政治家としての手腕は未知数。負託に応える実績を築くことができるか、責任は重い。保守分裂は県議の離党や職域支部の離反を生み、県政界への影響が懸念される。組織の再構築という難題に直面する、県連の対応も注目される。

（米子総局・桝井映志）

厳しい批判と　背中合わせ

解説

二大政党化が進み政権・政策を選択する小選挙区制度下で、有権者は小泉首相の「生き写し」のように構造改革継続を唱える石破茂氏を選んだ。

裏を返せば石破氏は、地方切り捨てとの反小泉感情を知名度と実績で振り払った。「自分が鳥取を一番よく知っている」と、地方代表としての自負もにじませた。

しかし演説では進む少子高齢化、低迷する地方経済への処方せんを語らなかった。有権者が安心して地方の将来を託したかどうか疑問符が付く。

歳出抑制による国の財政の立て直しと公共投資による地方の発展の共存は、相矛盾する論理だ。複数の自民党県議が遊説中「地方の実情を分かっているのか」と憤ったように、厳しい批判の目と背中合わせの選挙戦だったことを、たとえ大勝しても忘れてはならない。

当選後「これからは地域間競争の時代だ」と述べ、自らの政治力が問われていることを自覚した。自民党の圧勝で誕生する「巨大与党」に埋没せず、主張を単なるリップサービスで終わらせないことこそ、七期目を迎えた石破氏の最大の責務である。

（鳥取総局・尾添大介）

テレビ欄は9面

島根

1区　細田　博之氏
2区　竹下　亘氏

島根県は、自民前職が前回に続き二つの小選挙区を制した。一九九六年の小選挙区導入以降、三選挙区あった当時を含めて四回連続の自民の議席独占となった。

1区は官房長官を務める自民前職の細田博之氏が、民主・浜口和久氏、共産・上代善雄氏、社民・加納克己氏の三新人を突き放して六選。2区では自民前職の竹下亘氏が、国民前職の亀井久興氏、民主新人の小室寿明氏、共産新人の向瀬慎一氏を下し三選を果たした。

自民は厚い保守地盤に加え、郵政民営化の是非をめぐる支持団体の離反も、結束力に転化して、底力を見せつけた。政権交代を訴えた民主は支持を伸ばせず惨敗。社民・共産は二大政党化の中で埋没する厳しい結果となった。

1区は、細田氏が知名度を生かすとともに、小泉首相の補佐役としての構造改革路線の訴えが受け入れられ、浮動票の多い松江市で支持を広げた。二度目の挑戦の浜口氏は、頼みの無党派層に浸透し切れなかった。

郵政民営化をめぐり保守分裂選挙となった2区は、竹下氏が構造改革路線への反発を抱えながらも、保守地盤の分裂を最小限に抑えた。亀井氏は地盤の石見部で反小泉票を取り込んだが、出雲部での苦戦が響いた。小室氏は伸び悩んだ。

投票率は75・74％で、前回を5・08ポイント上回った。

2区　島根選挙区当選者　1区

細田　博之（自民前　㊐公明）

内閣官房長官。産業省通商担当など9勤務などを経て、1990年に衆院初当選。沖縄北方対策担当・科学技術担当・内閣官房副長官を務めた。東京大法学部卒。松江市堂形町。当選6回。61歳。

竹下　亘（自民前　㊐公明）

党国対副委員長。NHK勤務を経て、兄の竹下登元首相の秘書を務め、2000年衆院選で初当選。慶大経済学部卒。雲南市掛合町出身。東京都世田谷区下馬。当選3回。58歳。

島根選挙区開票結果

1　区（12日1時24分、選管最終）

当125,401票	細田	博之	61	自前
59,334票	浜口	和久	36	民新
12,786票	上代	善雄	51	共新
9,675票	加納	克己	61	社新

2　区（11日23時57分、選管最終）

当127,118票	竹下	亘	58	自前
72,098票	亀井	久興	65	国前
34,999票	小室	寿明	44	民新
10,704票	向瀬	慎一	34	共新

書画、骨董買い受けます
<なお、鑑定無料で行います>
茶道具、屏風、掛軸、昔の食器、古布、タンス、その他古美術全般。即現金にて。
新古美術　雲州堂
松江市幸町828
TEL(0852)23-9065 24-5780

手づくり和食器のお店
夢莫窯　むめいがま
1F　ショップ　創作陶器
引き出物・内祝い・記念品のオリジナルオーダー！
業務用のオリジナル陶器もご相談に応じます。　※日曜定休
2F　陶芸教室（随時入会受付）
午前（10:00〜12:00）日・火・水・木・土曜日
午後（14:00〜16:00）土曜日
夜間（19:00〜21:00）水曜日
（18:00〜20:00）木曜日
※第5週の教室は休み
☆体験コースもございます。（手びねり・電動ろくろ体験）
☆団体予約承ります。（5〜20名程度可）

松江市浜乃木6-18-3（浜乃木ローソン裏）
TEL（0852）27-5425
http://www10.ocn.ne.jp/~mumei/